

一般社団法人 津野山畜産公社

組織形態：第三セクター

取組範囲：梶原町全域

法人設立：平成 29 年 4 月

所在地：高岡郡梶原町横貝 5 9 3 - 1

出資金：2,300 千円

役員：代表理事 1 名・理事 7 名（常勤 0 名）、監事 2 名

従業員：正職員 10 名、臨時職員 1 名

事業内容

- ・畜産：495 頭（肉用牛 341 頭、繁殖牛 154 頭）
- ・堆肥製造：牛ふん堆肥（袋 15 k g ・バラ）

資本装備

- ・施設等：畜舎 6 棟（肉用牛 4 棟、繁殖牛 1 棟、分娩舎 1 棟）、管理棟 1 棟、
堆肥舎 2 か所 オガ倉庫 2 か所 倉庫 1 棟 堆肥施設 1 か所
- ・機械等：ホイールローダー・フォークリフト・ロータリー

活用した補助金等

- ・国事業：平成 29 年度畜産クラスター事業
- ・県事業：令和 2 年度経営継続補助金
- ・J A 事業：令和 3 年度高知県畜産業デジタル化促進助成

設立の経緯

当場の設立について、肉用牛飼育施設は、昭和60年に完成した。これは肉用牛の地域内一貫生産体系を確立するため、当時の津野山広域町村事務組合が、横浜に建設し、津野山農協が委託を受けて運営されていた。

主に九州から子牛の導入して飼育、食肉としてと畜場への市場販売を行っていたが、一部、合併前の津野山畜産公社の保有牛を約25頭飼育し、繁殖も行っていた。合併前は肥育牛を中心とした200頭規模の運営でしたが、平成29年度より牧場を母体として吸収合併し、現在は500頭規模の土佐和牛一貫農家となった。

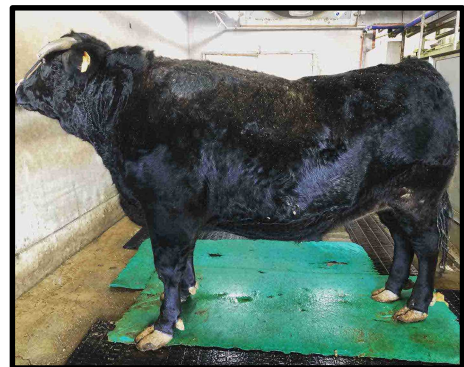
事業戦略

畜産を中心とした経営

取り組みの特徴



自社生産の牛ふん堆肥（袋）



高知県枝肉共励会「オレイン酸賞」受賞

作成日：令和5年8月現在